

令和7年3月1日

乳牛市況情報

(毎月1日現在)

全農酪農部
ホクレン酪農部

《前月の動き》

2月については、昨年の猛暑により資源不足傾向にある春分娩の牛が出回りの中心であったことと1月下落の反動もあって全国的に需要が活発化し、平均価格は628千円(前月比37千高・前年比45千円安)と一段値を上げて推移した。

《参考》 2月乳牛専門市場初妊牛取引価格帯

単位：円・頭・%

価格帯	~500,000	~550,000	~600,000	~650,000	~700,000	700,001~	合計
出場頭数	599	233	300	329	354	795	2,610
成立頭数	476	224	286	317	351	793	2,447
取引率	79.5	96.1	95.3	96.4	99.2	99.7	93.8

※令和7年1月開催市場分より価格帯表示を変更しております。

《今後の動き》

3月については、資源の減少が予測されるなか、乳価改定による導入需要の増加が見込まれることと春分娩需要の継続により、強含みで推移することが予測される。

《予想相場》

単位：千円

種別	ランク	極上	上	中
	育成(8~12ヶ月令)		>300	300~250
初妊		>720	720~660	660~600
経産	2~4産	>400	400~350	350~300
	5産以上	300中心		

※予想相場はET移植以外の登録牛を対象としています。